

過去最多の 111 杯を記録＝女性が優勝、岩手わんこ祭り

2016年5月25日 New! ニッケイ新聞



女性も活躍！そばをかき込む早食い競争の出場者

岩手県人会(千田曠暁会長)が15日昼、恒例のわんこそば祭りを開催した。第10回目を数える今年も、用意した70キロの乾麺がほぼ完売。例年同様、約300人が会場を訪れ、早食い競争も過去最多の参加者で大賑わいだった。

日本から輸入したそばに、改良を重ねる特製だしは毎年好評。薬味や餃子付きのそばは食べ放題で、中には5皿以上たらいげの来場者も見られた。

妻と訪れた聖市在住のルーベンス・アゼヴェードさん(39)は、フェイスブックでイベントを知ったという。「建築の勉強で訪日したことがある。その時にそばは食べたが早食い競争を見るのは初めて。とても興味深い」と笑顔を見せた。

その早食い競争は3分間で食べた数を競うもの。一昨年は24人、昨年は42人、今年は50人がエントリーした。5人一組に分かれ、ちびっ子や非日系、駐在員ら様々な層が競技に参加した。

全体で1位に輝いたのは、聖市在住で子ども移民の三宅みのりさん(39、大阪)。昨年は女子最高の84杯を記録したが、今年は大幅に上回る111杯を胃袋へかき込んだ。この記録は歴代最多と見られる。

競技を終えたばかりの三宅さんは、「まさか100杯を越えられるとは。声援にも後押しされ、そばを入れてくれる方も急かすくらい手際が良かった。記録はみんなのおかげです」と感激していた。成績上位者、杯数は以下の通り(敬称略)。

1位＝三宅みのり(111)、2位＝アリヤマ・ジョージ(105)、3位＝杉田尚央(96)、4位＝ウツミ・タクヤ(91)、5位＝井上マルセロ(84)